

## 経 済 建 設 常 任 委 員 会 開 催 状 況

1. 日 時 平成27年6月17日（水）  
午後 1時00分 開会 午後 3時15分 閉会
2. 場 所 第4委員会室
3. 出席委員 吉村範明委員長、新田寛之副委員長、南藤陽一委員、梅田利和委員、表靖二委員、北出隆一委員、杉林憲治議員
4. 欠席委員 なし

### 5. <都市創造部>

#### 【ひととものづくり科学館】

<報告事項> ひととものづくり科学館の利用状況について

#### 【まちデザイン第1課】

<報告事項> 北陸新幹線に伴う埋蔵文化財調査について

<報告事項> オール加賀会議白山眺望大賞の選考結果について

<報告事項> 今江新橋開通について

#### 【まちデザイン第2課】

<報告事項> 小松駅南ブロック複合施設について

#### 【道路河川課】

議案第52号 市道路線の認定について

議案第53号 市道路線の変更について

議案第54号 市道路線の廃止について

#### 【建築住宅課】

議案第46号 小松市特別工業地区建築条例の一部を改正する条例について

議案第47号 小松市建築審査会設置条例の一部を改正する条例について

議案第48号 小松市営住宅条例の一部を改正する条例について

### <環境共生部>

#### 【エコロジー推進課】

議案第44号 小松市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例について

<報告事項> 木場潟公園（南園地）での花ハス池の整備について

<報告事項> こまつ水辺クリーンデーについて

【農業委員会】

<報告事項> 農業委員会法の改正について

【環境王国こまつ推進本部】

<報告事項> 第66回全国植樹祭「御製碑」建立について

<経済観光文化部>

【観光交流課】

<報告事項> 「加賀の國」魅力発見講演会について

<報告事項> メモリアルプレゼンツ事業について

<報告事項> 台北チャーター便について

【国際都市推進課】

<報告事項> 姉妹都市等との交流事業について

【文化創造課】

<報告事項> こまつ九谷焼アクションプランについて

<報告事項> 曳山250年記念座談の開催について

【商工労働課】

<報告事項> こまつ・のみ・かが合同就職説明会について

6. 委員長報告の要旨

経済建設常任委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。当委員会に付託されました案件は、「議案第49号 未来を拓く小松市創造的ものづくり振興条例について」をはじめとする議案5件であります。これらの案件につきまして、活発な質疑応答を行い、慎重なる審査を行いました結果、全会一致をもって、原案どおり可決・承認すべきものと決した次第であります。

以下、審査の過程におきまして、さまざまな意見や要望が出されましたので、その一端について御報告申し上げます。

■はじめに、未来を拓く小松市創造的ものづくり振興条例についてであります。

すべての市民が参加のもと、ものづくりのまちとしての伝統と誇りを継承するとともに、伝統的ものづくりを次の世代につながる創造的ものづくりに発展させ、豊かな社会を実現するため、「未来を拓く小松市創造的ものづくり振興条例」を制定しようとするものであります。

■次に、フローラルこまつについてであります。

全国植樹祭に合わせて、2015春「花のコンクール大賞」の表彰式が行われ、大賞などの各賞が表彰され、また、今回は、全国植樹祭開催記念賞と桜賞が表彰されたとの

ことであります。

表彰されることは、誇りや励みになりますので、フローラルこまつの趣旨を大切に  
して、様々な取り組みを継続していくよう求めたものであります。

**■次に、ひととのづくり科学館についてであります。**

ひととのづくり科学館については、JAXA筑波宇宙センターに展示してあった  
日本宇宙実験棟「きぼう」の一部が譲渡され、展示パーツを活用し、居住スペースや  
実験スペースを製作し、宇宙センターこまつとして展示するとのことあります。

今後も、経費をかけるだけでなく、知恵を働かせ、より一層の集客に努めていくよ  
う求めたものであります。

**■次に、北陸新幹線開業後の影響についてであります。**

北陸新幹線金沢開業後の3月14日から5月10日までの、各観光地や宿泊施設の  
利用人数、空の駅こまつなどの物販施設の売り上げは増加しております。

一方、交通面においては、電車の利用者が増加する中で、小松空港の利用者は、国際  
線は増加となっておりますが、国内線は減少しております。また、レンタカー利用者も  
減少となっております。

今後とも各種媒体を活用し、本市への誘客促進に努めていくとのことありますが、  
2次・3次交通の充実を図り、観光地への交通アクセスについても利用促進が図られ  
るよう、戦略的に取り組んでいくよう求めたものであります。

以上